

新入職教育年間スケジュール表



到達目標

- ・ルチーンの日常生活援助が安全にできる
- ・その日の受け持ち業務が把握でき、時間調整、優先度を決めながら実施できる
- ・看護基準、看護手順を参考に指導者に指導を受けながら看護実践できる
- ・オレムの看護理論に基づいた看護過程の展開ができる
- ・看護場面で看護者として必要な基本的コミュニケーションスキルがとれる
- ・精神保健福祉法が理解できる



3ヶ月目の振り返り

- ・チームメンバーの役割ができる
- ・精神科病院におけるチーム医療が分かる
- ・病棟の概要や体制、看護部、病棟目標が分かる
- ・感染、医療安全の基本的知識を深め看護師の役割がとれる

6ヶ月目の振り返り

- ・自分の教育課題を指導によって発見することができる
- ・事例検討会、院内研修会に自ら参加できる

仁明会精神衛生研究所主催の研修参加や日本看護協会、日本精神科看護協会(会員登録要)など院外研修参加への支援体制も整っています。

研修会

【入職式およびオリエンテーション】

精神科専門技術

精神科の医療従事者として必要な知識や技術を学びます。

- 精神科看護とは
- 精神科看護理論
- 精神保健福祉法について
- 行動制限について



基礎看護技術

毎日行う基礎看護技術の知識や技術を学びます。

- リネン交換
- 与薬(内服・注射)
- 採血
- 食事の援助
- 排泄の援助

観察と記録

患者様の病態、症状、セルフケアレベルをアセスメントし、計画立案、実践、評価する方法について学びます。

- 精神状態、セルフケアレベルの査定
- 看護計画、記録について



患者理解

- 統合失調症の理解と看護
- 認知症の理解と看護
- 感情障害の理解と看護
- 薬物療法の理解と看護

その他

- 医療安全対策
- 院内感染対策
- 急変時の対応



新人事例発表会



所属の病棟でプリセプターとチェックリストを用いて専門性のある看護技術を習得していきます。

業務は、少しずつ慣れていきましょう。精神科看護は、病棟カンファレンスやミニ勉強会、事例検討会などで学べます。